

## 調査の概要

### (1) 本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

### (2) 調査の対象学年・学校・生徒数

(9月7日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)  
中学校第3学年 門真市:6校 865人

### (3) 調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)  
中学校第3学年 国語・社会・数学・理科・英語

### (4) 大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について

中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

## 今回の結果を受けた今後の取組

### ◎授業改善の推進

授業では、子どもが主体的な活動を通して「何をどのように学ぶか」という学びの質や深まりを重視することが大切です。基礎基本の充実とともに、意欲的かつ主体的な学びを育む授業、指導方法の充実を図ります。

### ◎門真市版授業づくりベーシックの作成

現在の「門真市版授業スタンダード」の定着を着実に進めるとともに、新学習指導要領の実施に向け、新たに「授業づくりベーシック」を作成します。それに基づき、子どもの主体的・対話的で深い学びを進める授業力の育成をめざした教員研修を実施します。

### ◎門真市開発的生徒指導

・わかる・認められる授業への改善を目指し、児童・生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、全ての子どもたちの自己実現に向けた生徒指導へと転換を図ります。

## 調査結果の概要

### ○中学校第3学年

- ・国語・社会・数学・理科・英語の各教科において府平均を下回っており、府と6.0～11.0の得点差が見られます。
- ・標準化得点を活用した対府比較では、門真市は府100に対し約90～95程度となっています。
- ・2年生時の同調査(平成30年1月実施)の標準化得点と比較すると、**国語・社会・数学において府平均との差が縮まり、成果が見られます。**

## 学年・教科別得点

### 平均得点

	29年度(2年生)		30年度(3年生)	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	63.9	70.5	48.5	53.0
社会	40.0	49.3	42.8	49.5
数学	53.0	59.7	53.1	58.9
理科	55.7	63.1	50.4	58.0
英語	49.7	59.4	47.5	58.5

## 保護者・地域の皆様へ

平成30年度中学生チャレンジテスト3年生の標準化得点は、過去に行われた全国調査とほぼ同水準の結果です。今回のチャレンジテストの結果を分析し、各学校の授業改善や、市の教育施策の改善に生かします。

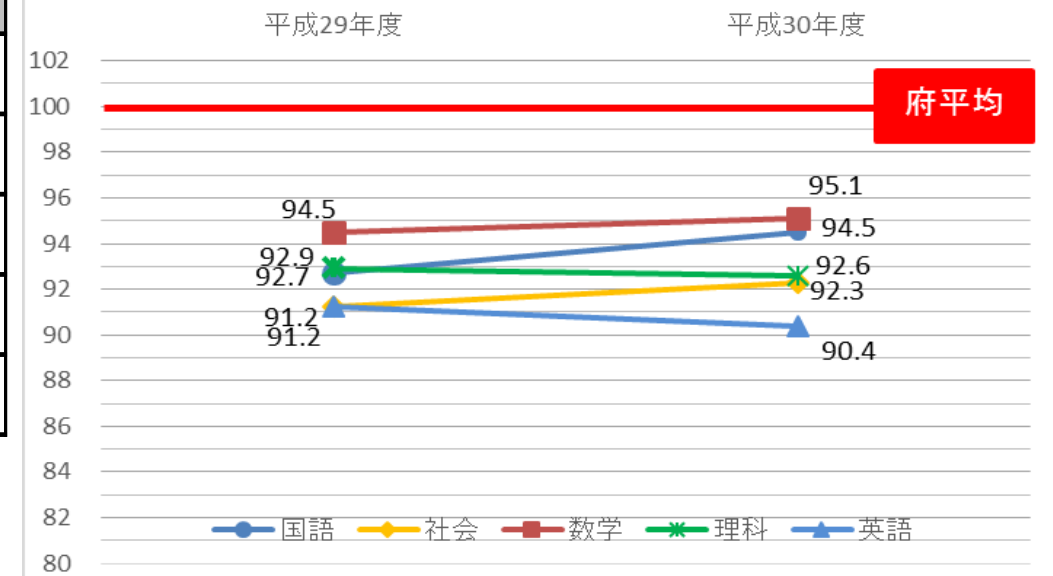
今後も、平成27年度に策定した門真市教育振興基本計画に基づき、子どもたちの確かな学力の育成に向け、学校における学力向上の取組を推進して参ります。保護者や市民の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

## 標準化得点を活用した対府比較※1

※1 標準化得点は、大阪府平均との関係について相対的な比較ができるよう計算されたものです。

## 第2学年 → 第3学年の経年比較

### 2年生 → 3年生 標準化得点(対府)



※ 今回お知らせする調査結果は、学力や学習の一部であり、子ども達の学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。